

飯能市における技術顧問制度について

飯能市 総合政策部 契約検査課

- 1、技術顧問制度導入の背景
- 2、技術顧問制度の概要
- 3、これまでの業務内容
- 4、具体的な顧問事例の紹介
- 5、職員からの感想・意見・その他
- 6、課題と今後

1、技術顧問導入の背景

- 専門性の高い業務の増加
- 総合評価方式技術審査会での顧問を担う技術者の必要性
- 行政対応すべきすべての分野での専門技術職員の配置不可能(市技術職員40人余り)



- ・ 専門性高い・多分野の技術者
 - ・ 気軽に相談できる技術者
- } 技術顧問

2、技術顧問業務の概要

目的

- 1、職員が気軽に相談できる専門技術士を身近に置くことにより、より効率的な行政サービスを図る。
- 2、高度な技術対応を行うことにより、職員の技術レベルを向上させる。

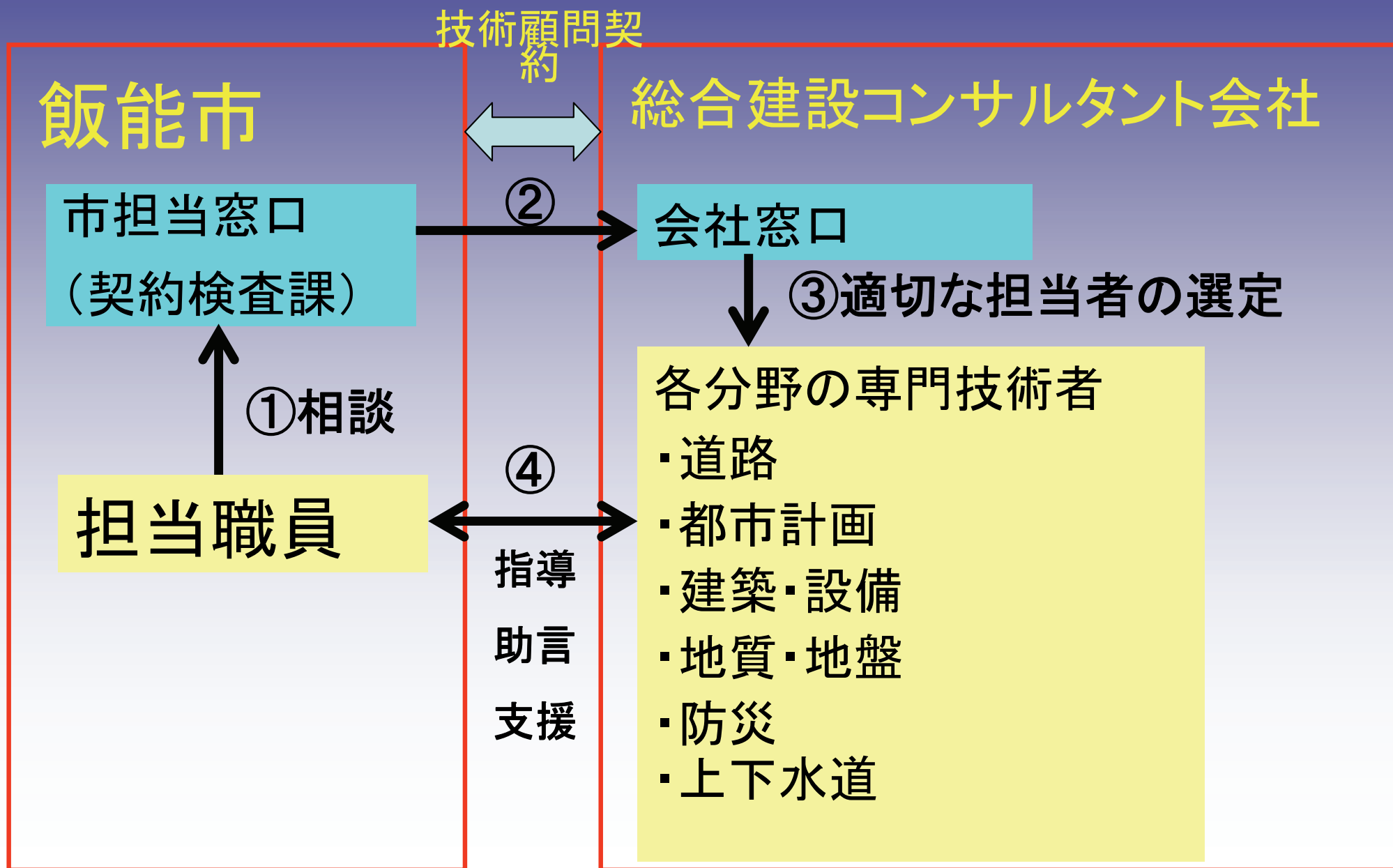
技術顧問のしくみ(次ページ資料参照)

- ・建設技術に関する総合コンサルタントと技術顧問契約を締結
- ・市の各担当者が、市の窓口・会社窓口を通して、直接会社の専門技術者から指導・助言・支援を受けるようにする

主な顧問業務内容

- ・建設工事に係る計画立案から設計、発注、工事施工、工事検査までの全般および専門技術の相談等に応じた指導、助言、支援
- ・現場での市職員への指導・助言・支援等(以上、年10件程度)
- ・市の職員を対象とした技術研修会講師の派遣等(年2回開催)

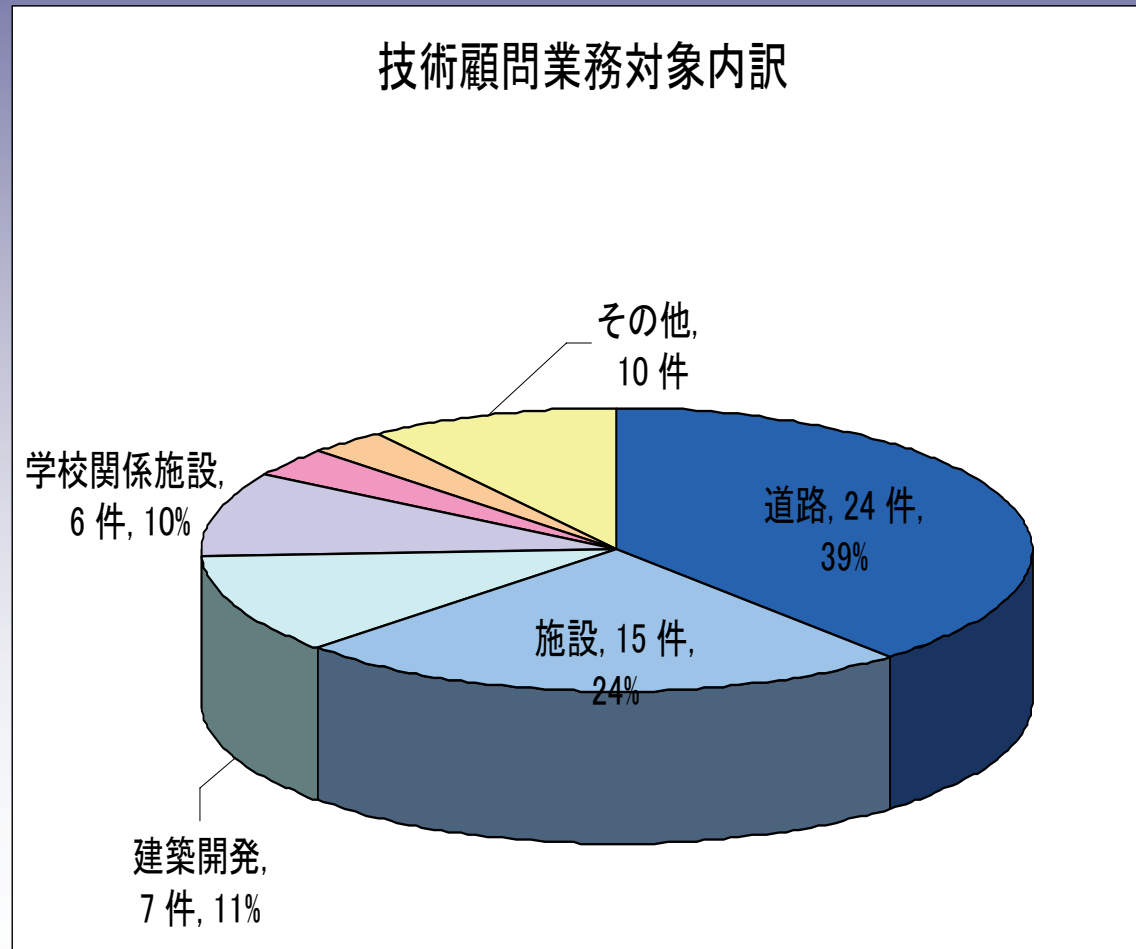
技術顧問のしくみ



3、これまでの顧問業務内容①

- 平成13年度より顧問業務を導入

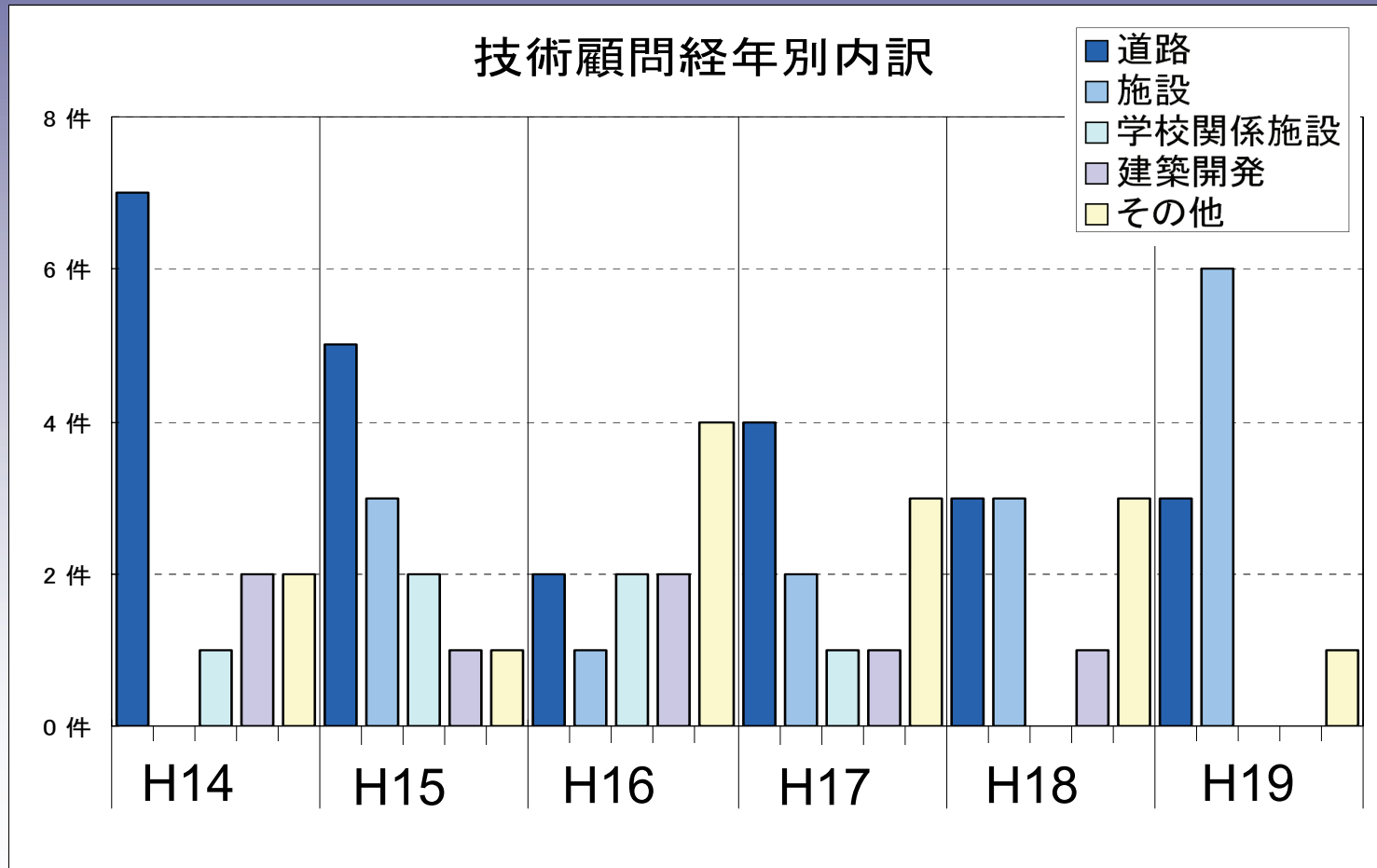
対象内容凡例



道路	市道、林道、都市計画街路、橋梁等関連構造物の計画・補修・工法検討等
施設	市の施設(体育館、球場、駐車場、その他)関連の計画、維持管理、補修等の検討
学校関係施設	校舎の耐震診断、周辺施設の変状対応、
建築開発	新規開発計画地の地盤の安定性等、造成業者への指導方法
その他	防災・上下水道他

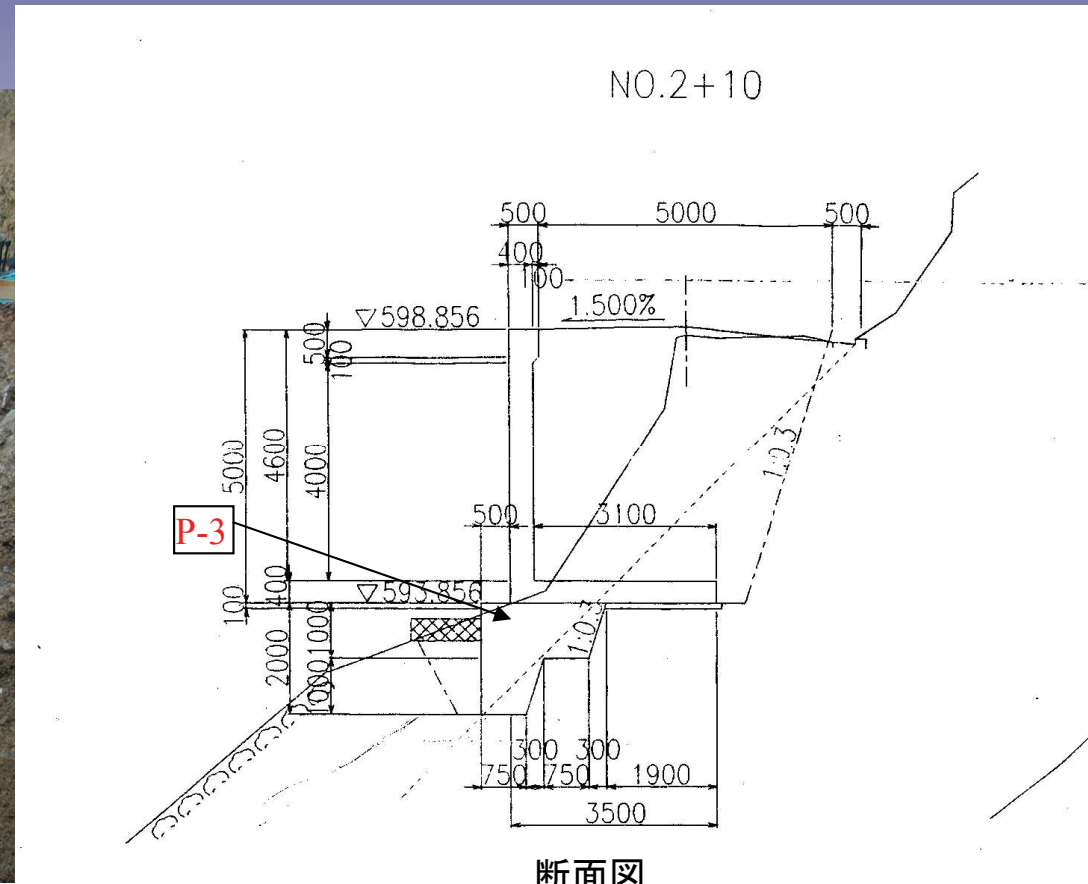
3、これまでの顧問業務内容②

- 業務対象別の件数経年変化



4、具体的な顧問事例①

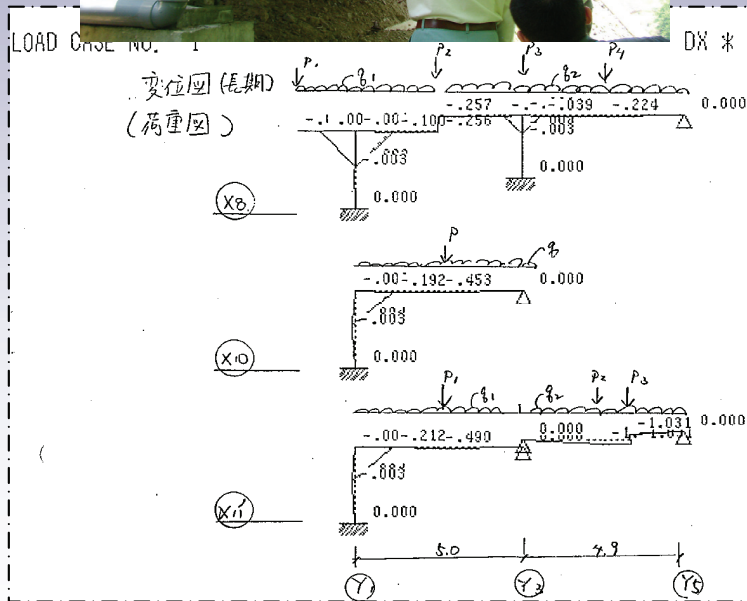
・市道災害復旧工事時の基礎地盤判定



現地において岩盤の判定方法の指導をいただき、基礎処理方法等対策方針のアドバイスを受けた。

4、具体的な顧問事例②

市経営の温泉施設改修に伴う構造検討



建設時の構造計算書
チェック

□ 現在の構造を基本的に変更しないことを前提に、浴槽の配置を下記の3案とした。

A案：構造に与える影響が最も少ない案（浴槽が最小）

B案：A案より大きい浴槽

C案：現状で最大と思われる浴槽

浴槽： 1.250 kg/m²

で計算されており、それにもとずいて検討すると

C案の場合

別紙計算書P-127のDS2 パルコニーより

930kg/m²の時鉄筋量は at=9.84 平方 cm/m であり

1.250kg/m²の時の鉄筋量は at=9.84*1.25/0.93=13.23 平方 cm/m必要となり

13.23/1.267=10.4 本/mとなり、現設計の10本/mを僅かでわあるが上回ることとな

り、何らかの補強、対策が必要である。

可能な改修プランについて方向性を示す

技術研修会の内容

年度	テーマ
14年	斜面危険箇所の見分け方と斜面管理の方法
//	設計VEの概要と実践
15年	交通バリアフリーの基本構想について
//	道路構造物の維持管理について
16年	アセットマネジメントについて
//	近年の環境問題と課題
17年	行政運営から行政経営へ
18年	中心市街地活性化
//	アセットマネジメントとコスト縮減
19年	建設CALSと電子納品
//	官民連携

5、職員からの感想・意見・その他

- 専門分野の方に対応してもらいほぼ満足している。
- 電話でも迅速に対応してもらった。
- こちらの要求に対して、複数の案を提案してくれた。
- 早い対応と理解し易い成果品で全体業務としてよかった。
- すぐに現地に来るなどスピーディーな対応であった。
- 調査結果に基づく庁内会議にも出席いただき専門家の立場からアドバイスをいただき満足している。
- 窓口の理解不足等コミュニケーション不十分で担当依頼者の要望に完全に答えられない場合もあった。

6、課題と今後

- 顧問活用方法について

職員がさらに技術的なレベルアップをするための方策

- 顧問契約について

年間契約の理由、業者選択基準等